



# KV-80/KV-81/KV-82

---

*AMD Athlon<sup>TM</sup> 64* システムボード  
*Socket 754*

ユーザーマニュアル

---

## 著作権と補償について

このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なく変更される場合があります。本マニュアルの作成には万全を期しておりますが、万一誤りが合った場合はご容赦願います。

本製品の特定用途への適用、品質、または商品価値に関して、明示の有無に関わらず、いかなる保証も行いません。このマニュアルや製品上の表記に誤りがあったために発生した、直接的、間接的、特殊な、また偶発的なダメージについて、いかなる保証も行いません。

このマニュアルに記載されている製品名は識別のみを目的としており、商標および製品名またはブランド名の所有権は各社にあります。

このマニュアルは国際著作権法により保護されています。本書の一部または全部を弊社の文書による許可なく複製または転用することは禁じられています。

マザーボードを正しく設定しなかったことが原因で発生した故障については、弊社では一切の責任を負いかねます。

---

# 目 次

---

<b>第 1 章</b>	<b>はじめに .....</b>	<b>1-1</b>
1-1.	機能と仕様.....	1-1
1-2.	レイアウト .....	1-3
<b>第 2 章</b>	<b>ハードウェアのセットアップ .....</b>	<b>2-1</b>
2-1.	マザーボードのインストール.....	2-1
2-2.	CPU およびヒートシンクの取付け .....	2-2
2-3.	システムメモリの取付け.....	2-3
2-4.	コネクタ、ヘッダ、スイッチ.....	2-5
(1).	ATX 電源入力コネクタ .....	2-5
(2).	FAN コネクタ .....	2-6
(3).	CMOS メモリクリアリングヘッダ .....	2-7
(4).	ウェークアップヘッダ.....	2-8
(5).	前面パネルのスイッチとインジケータ接続.....	2-9
(6).	追加 IEEE1394 ポートヘッダ (KV-80).....	2-10
(7).	追加 USB ポートヘッダ .....	2-10
(8).	前面パネルのオーディオ接続ヘッダ .....	2-11
(9).	シリアル ATA コネクタ .....	2-12
(10).	内部オーディオコネクタ .....	2-12
(11).	加速式グラフィックスポートスロット .....	2-13
(12).	フロッピーと IDE ディスクドライブコネクタ .....	2-14
(13).	背面パネルの接続.....	2-15
<b>第 3 章</b>	<b>BIOS について .....</b>	<b>3-1</b>
3-1.	SoftMenu Setup.....	3-2
3-2.	Standard CMOS Features.....	3-4
3-3.	Advanced BIOS Features.....	3-7
3-4.	Advanced Chipset Features.....	3-9
3-5.	Integrated Peripherals .....	3-13
3-6.	Power Management Setup .....	3-17
3-7.	PnP/PCI Configurations.....	3-21
3-8.	PC Health Status .....	3-23

---

---

3-9.	Load Fail-Safe Defaults .....	3-24
3-10.	Load Optimized Defaults .....	3-24
3-11.	Set Password .....	3-24
3-12.	Save & Exit Setup .....	3-24
3-13.	Exit Without Saving.....	3-24
<b>第 4 章</b>	<b>ドライバのインストール.....</b>	<b>4-1</b>
4-1.	セットアップアイテム.....	4-2
<b>付録 A.</b>	<b>テクニカルサポートの受け方について.....</b>	<b>A-1</b>

---

# 第 1 章 はじめに

---

## 1-1. 機能と仕様

---

### 1. CPU

- 1600MHz ハイパートランスポートにより AMD Socket 754 Athlon 64/Sempron プロセッサをサポート
- AMD K8 CPU Cool 'n' Quiet Technology をサポート

### 2. CPU 統合メモリコントローラ

- 72 ビットメモリコンとラーらが 266、333、400MHz で DDR をサポート
- 最大 2GB まで 2 DIMM DDR400 をサポート

### 3. チップセット

- VIA K8M800 と VT8237

### 4. グラフィックス

- 2D/3D/ビデオコントローラで統合された UniChrome Pro グラフィックス

### 5. SATA RAID

- シリアル ATA 1.5Gbps データ転送速度
- SATA RAID 0/1 をサポート

### 6. LAN

- オンボード 10/100/1000Mb (KV-80/KV-81 用 **VIA VT6122** PCI コントローラ)
- オンボード 10/100Mb (KV-82 用 **VIA VT6107** PCI コントローラ)

### 7. IEEE 1394

- 100/200/400 Mb/秒の転送速度で 2 ポートの IEEE 1394 をサポート(**KV-80**)

### 8. オーディオ

- オンボード 6 チャンネルオーディオ CODEC

### 9. ABIT Engineered

- ABIT SoftMenu™ テクノロジ
- ABIT FanEQ™ テクノロジ
- CPU ThermalGuard™ テクノロジ

### 10. 内部 I/O コネクタ

- 1x AGP 8X/4X スロット
- 2x PCI スロット

- 1x フロッピーポートが 2.88MB までサポート
- 2x Ultra DMA 33/66/100/133 コネクタ
- 2x シリアル ATA 150Gbps コネクタ
- 2x USB 2.0 ヘッド (各ヘッドが 2 つの USB 2.0 デバイスをサポート)
- 1x CD-IN、1x AUX-IN ヘッド
- 1x FP オーディオヘッド
- 1x IEEE 1394 ヘッド(**KV-80**)

## 11. 背面パネル I/O

- 1x PS/2 キーボード、1x PS/2 マウス
- 1x パラレルポート、1x シリアルポート、1x VGA ポート
- 1x オーディオコネクタ (ライン出力、ライン入力、MIC)
- 4x USB 2.0、1x RJ-45 LAN コネクタ
- 1x IEEE 1394 コネクタ(**KV-80**)

## 12. その他

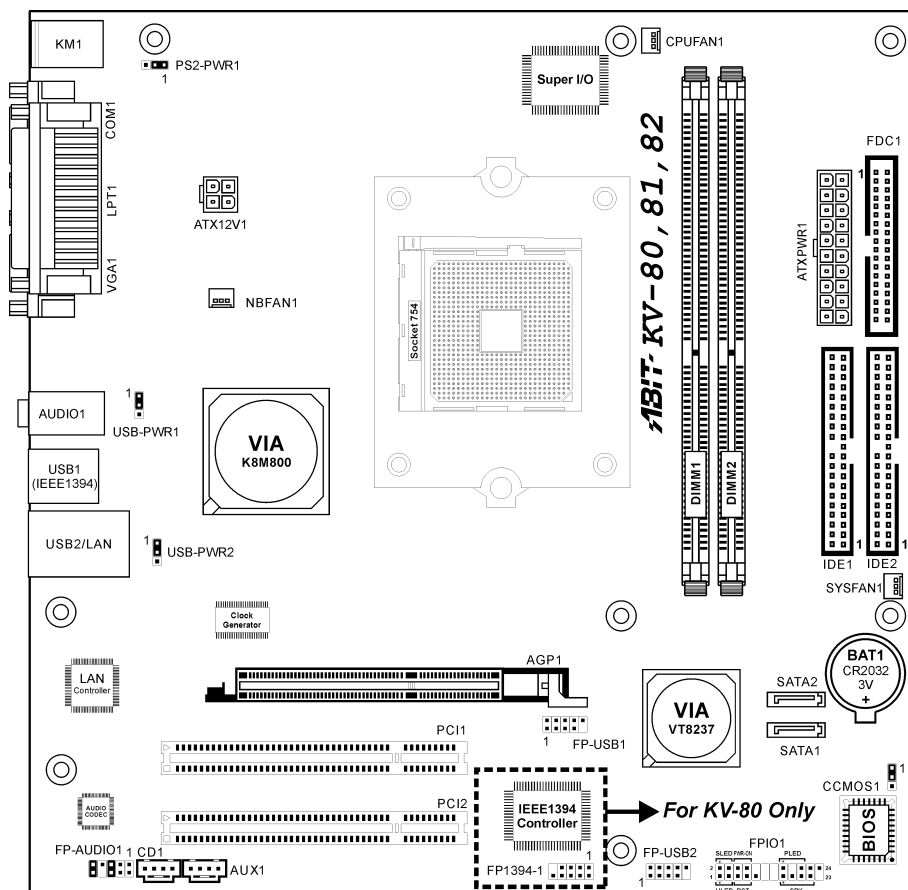
- mATX フォームファクタ: 245 x 245 mm

## 13. オーダー情報

モデル	機能
KV-80	GbE LAN, IEEE1394
KV-81	GbE LAN
KV-82	10/100M LAN

※ 本書に記載されている仕様および情報は予告なしに変更されることがあります。

## 1-2. レイアウト







## 第2章 ハードウェアのセットアップ

**取付けを開始する前に：**ATX12V の電源装置のスイッチをオフにする(+5V スタンバイ電源を完全にオフにする)、または取り付ける前に電源コードを外す、またはコネクタやアドオンカードのプラグを抜く、以上のことを忘れないでください。さもないと、マザーボードコンポーネントまたはアドオンカードが故障したり破損する可能性があります。

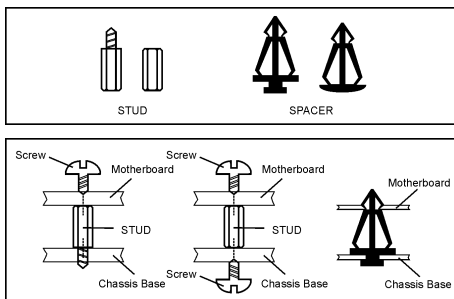
### 2-1. マザーボードのインストール

ほとんどのコンピュータシャーシには、マザーボードを安全に固定し、同時に回路のショートを防ぐ多数の穴のあいた基板があります。マザーボードをシャーシの基板に固定するには次の2つの方法があります。

1. スタッドを使用する
2. スペーサーを使用する

原則的に、マザーボードを固定する最善の方法はスタッドを使用することです。スタッドを使用できない場合にのみ、スペーサーを使ってボードを固定してください。マザーボードを注して見ると、多くの取り付け穴が空いているのがわかります。これらの穴を基板の取り付け穴の位置に合わせてください。位置をそろえた時にネジ穴ができれば、スタッドとネジでマザーボードを固定できます。位置をそろえてもスロットしか見えない時は、スペーサーを使ってマザーボードを固定します。スペーサーの先端をもってスロットに挿入してください。スペーサーをすべてのスロットに挿入し終えたら、マザーボードをスロットの位置に合わせて挿入してください。マザーボードを取り付けたら、すべてに問題がないことを確認してからコンピュータのケースをかぶせてください。

**注意：**PCB サークットのショートを防ぐために、金属製ボルトとスペーサがすでにシャーシにしっかりと取り付けられ、マザーボード上に一直線に合うような取り付け穴がない場合、それらのボルトとスペーサを取り外してください。



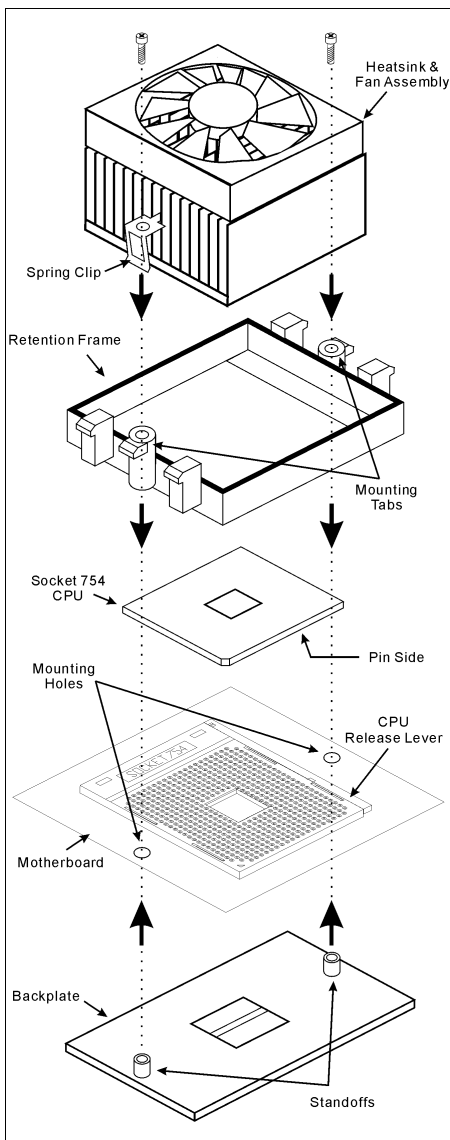
## 2-2. CPU およびヒートシンクの取付け

このマザーボードは ZIF (ゼロインサージョン フォース)Socket 754 を提供して、AMD Socket 754 CPU を取り付けます。ご購入した CPU には、ヒートシンク、冷却ファン、リテンションフレーム、ブラックシートが付属している必要があります。付属していない場合、Socket 754 用に特別に設計されたものをお求めください。

ここに示した図を参照して、CPU とヒートシンクを取り付けます（この図は参照専用です。お使いのヒートシンクとファンアセンブリはこの図と異なっていることがあります）。

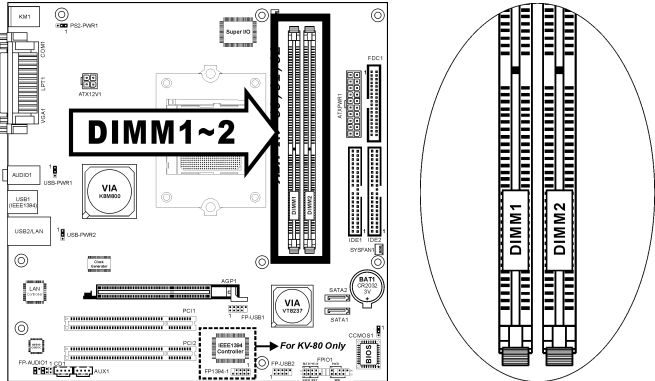
1. このマザーボードで **Socket 754** を探します。CPU リリースレバーを横に引いて掛け金を外し、一杯に引き上げます。
2. プロセッサのピン側を下にして **CPU ソケット** に入れます。**CPU** を挿入するときに無理に力を加えないでください。**CPU** は一方向にしかフィットしません。**CPU** リリースレバーを閉じます。
3. 後ろ板の支柱をマザーボードの取り付け穴に揃えます。後ろ板をマザーボードに慎重に置きます。
4. リテンションフレームをマザーボードに置き、後ろ板の支柱に一直線に揃えます。
5. **CPU** の上部にヒートシンクを置き、ヒートシンクがリテンションフレームに正しくフィットしていることを確認します。
6. スプリングクリップの両端をリテンションフレームの取り付けタブに留めます。スプリングクリップが完全に取り付けられるまで強く締めます。
7. ヒートシンクとファンアセンブリのファンコネクタをマザーボードの **CPU-FAN** コネクタに接続します。

**注意：**プロセッサに対して、正しいバス周波数とマルチプルを設定することを忘れないでください。



## 2-3. システムメモリの取付け

このシステムボードは、最大 2GB のメモリ拡張サイズを持つ DDR400 メモリモジュールに対して 184 ピン DDR DIMM スロットを提供します。

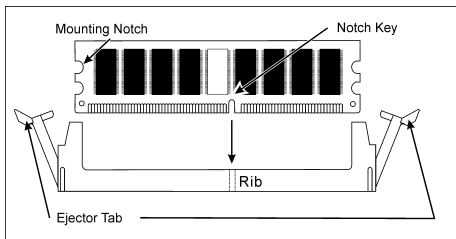


バンク	メモリモジュール	合計
Bank 0, 1 (DIMM1)	256, 512MB, 1GB	256MB ~ 1GB
Bank 2, 3 (DIMM2)	256, 512MB, 1GB	256MB ~ 1GB
システムメモリの合計		256MB ~ 2GB

**注：**メモリモジュールを取り付けたり、取り外したりした後は、ハードウェアや BIOS セットアップの必要はありませんが、互換性に関する問題が生じた場合はまず CMOS メモリを消去してください。

メモリモジュールの取り付け/取り外しを行う前に、コンピュータの電源をオフにして AC 電源コードを抜いてください。

1. ボードの DIMM スロットを探します。
2. DIMM モジュールのコネクタに触らないようにしながら、その両端をそっと持ちます。
3. モジュールのノッチキーをスロットのリブに合わせます。
4. モジュールをスロットにしっかり押しと、スロットの両側のイジェクタタブが取り付けノッチにカチッと音を立てて自動的に固定されます。DIMM モジュールを差し込むときに無理な力を入れないでください。DIMM モジュールは一方方向にだけフィットするようになっています。
5. DIMM モジュールを取り外すには、スロットの 2 つのイジェクタタブを同時に外側に押してから、DIMM モジュールを取り出します。



**注意:** 静電気はコンピュータの電気コンポーネントやオプションのボードを破損する恐れがあります。これらの手順を開始する前に、アースされた金属物質に軽く触れることで、静電気を確実に放電してください。

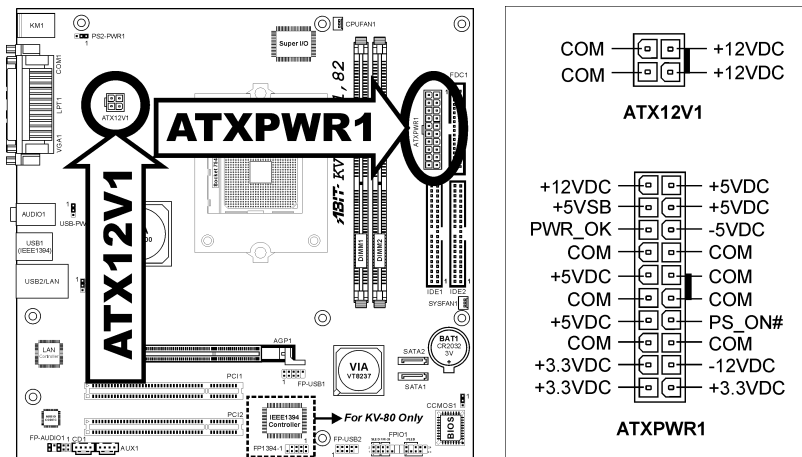
## 2-4. コネクタ、ヘッダ、スイッチ

ここでは、コネクタ、ヘッダ、スイッチと、その接続方法が全て表示されています。コンピュータのシャーシ内に全てのハードウェアを取り付ける前に、全ての項を読んで必要な情報を頭に入れてください。参照のために、ボード上のコネクタとヘッダの全ての位置に対応する完全な拡大配置図を第1章に示します。

**警告:** 周辺機器やコンポーネントを追加したり取り外す前に、必ずコンピュータの電源をオフしてから、ACアダプタのプラグを抜いてください。さもなければ、マザーボードや周辺機器が重大な損害をこうむることもあります。全てを十分にチェックした後で、AC電源コードのプラグを差し込んでください。

### (1). ATX 電源入力コネクタ

このマザーボードは2つの電源コネクタを提供してATX12V電源装置に接続します。



**注:** 負荷の重いシステムの場合は、少なくとも 350W、20A +5VDC 容量の、呼び起こし機能をサポートする場合は、少なくともお 2A +5VSB 容量の電源装置に接続するようにお勧めします。

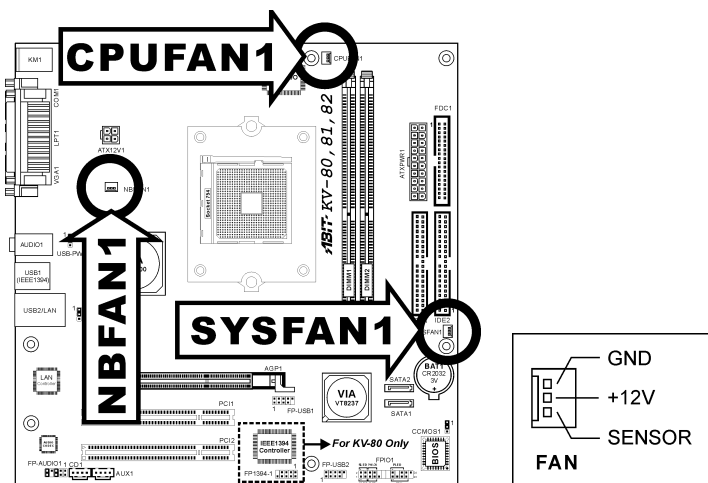
## (2). FAN コネクタ

これらの3ピンコネクタはそれぞれ、システムに取り付けられたクーリングファンに電源を供給します。

CPU は、ヒートシンクを装備した強力なファンにより冷却される必要があります。システムは、CPU ファンの速度を監視することができます。

- **CPUFAN1** : CPU ファン
- **NBFAN1** : チップセットファン
- **SYSFAN1** : システムファン

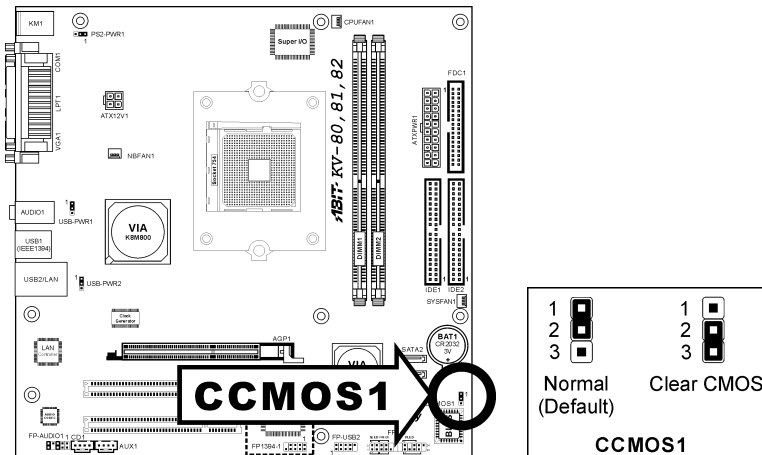
**警告:** これらのファンコネクタはジャンパではありません。これらのコネクタにジャンパキャップをかぶせないでください。



### (3). CMOS メモリクリアリングヘッド

この CCMOS1 ヘッドはジャンパキャップを使用して、CMOS メモリを消去します。

- ピン 1-2 ショート (デフォルト) : 標準操作。
- ピン 2-3 ショート : CMOS メモリの消去。



**警告** : CMOS メモリをクリーニングする前に、まず(+5V スタンバイ電源を含め)電源をオフにしてください。さもなければ、システムが異常な動作を引き起こしたり故障する可能性があります。

#### (4). ウェークアップヘッダ

- **PS2-PWR1:**

ピン 1-2 ショート (デフォルト) : キーボード/マウスポートでのウェークアップ機能のサポートを無効にします。

ピン 2-3 ショート : キーボード/マウスポートでのウェークアップ機能のサポートを有効にします。

- **USB-PWR1 :**

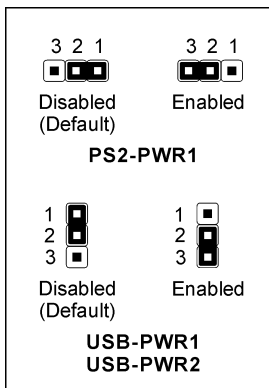
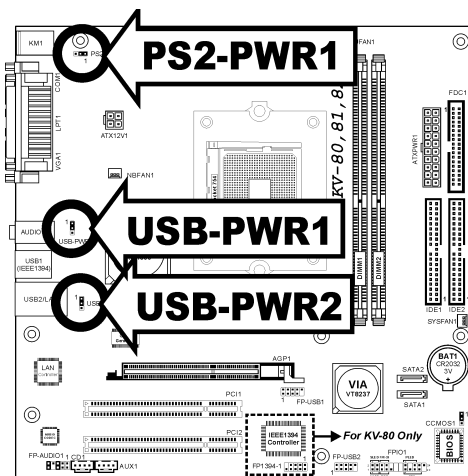
ピン 1-2 ショート (デフォルト) : USB1 ポートでのウェークアップ機能が無効にします。

ピン 2-3 ショート : USB1 ポートでのウェークアップ機能を有効にします。

- **USB-PWR2 :**

ピン 1-2 ショート (デフォルト) : USB2 ポートでのウェークアップ機能が無効にします。

ピン 2-3 ショート : USB2 ポートでのウェークアップ機能を有効にします。

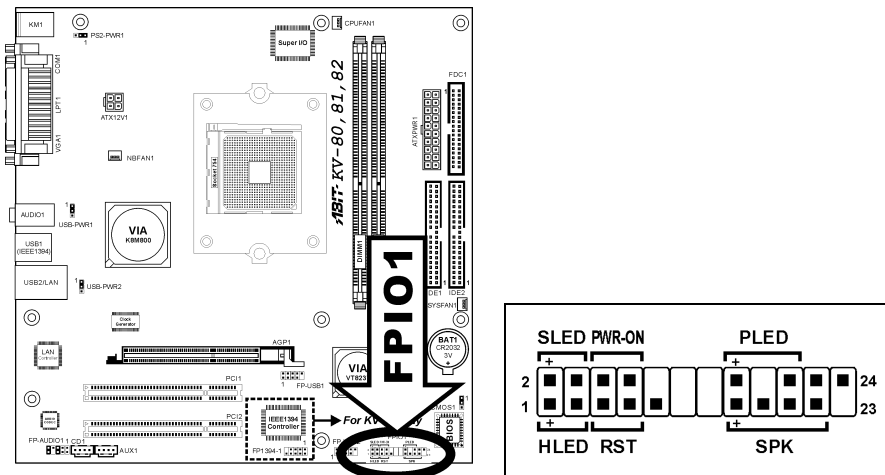




### (5). 前面パネルのスイッチとインジケータ接続

このヘッダは、スイッチと LED インジケータをシャーシ前面パネルに接続するために使用されます。

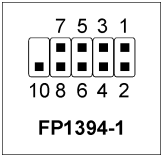
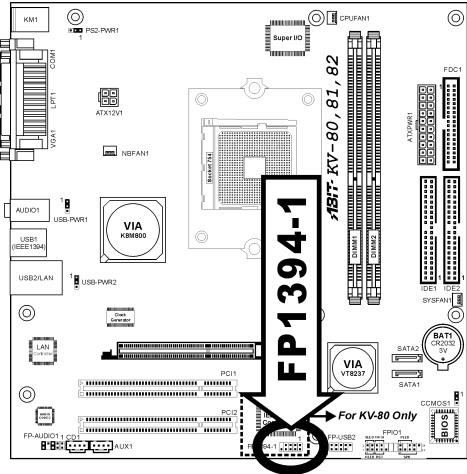
電源 LED のピン位置と方向に注してください。下図のピンに一直線に並んでいる“+”のマークは、LED 接続のプラス極を表します。これらのヘッダに間違いなく接続してください。方向を逆に接続しても LED が点灯しないだけのことで、スイッチの間違っただけの接続はシステムの故障の原因となることがあります。



- **HLED (ピン 1、3) :**  
シャーシ前面パネルの HDD LED ケーブルに接続します。
- **RST (ピン 5、7) :**  
シャーシ前面パネルのリセットスイッチケーブルに接続します。
- **SPK (ピン 15、17、19、21) :**  
シャーシのシステムスピーカーケーブルに接続します。
- **SLED (ピン 2、4) :**  
シャーシ前面パネルのサスペンド LED ケーブル (もしあれば) に接続します。
- **PWR-ON (ピン 6、8) :**  
シャーシフロントパネルの電源スイッチケーブルに接続します。
- **PLED (ピン 16、18、20) :**  
シャーシフロントパネルの電源 LED ケーブルに接続します。

(6). 追加 IEEE1394 ポートヘッダ (KV-80)

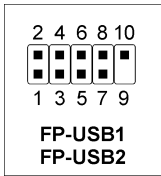
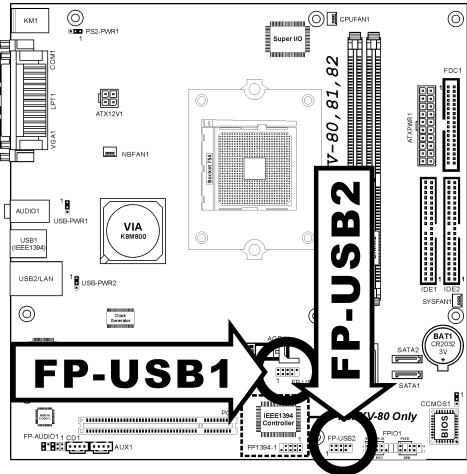
これらのヘッダはそれぞれ、延長ケーブルとブラケットを通して、1つの追加 IEEE1394 ポート接続を提供します。



ピン	割り当て	ピン	割り当て
1	TPA0 +	2	TPA0 -
3	アース	4	アース
5	TPB0 +	6	TPB0 -
7	+12V	8	+12V
9	NC	10	アース

(7). 追加 USB ポートヘッダ

これらのヘッダはそれぞれ、USB 2.0 仕様に対して設計された USB ケーブルを通して、2つの追加 USB 2.0 ポート接続を提供します。

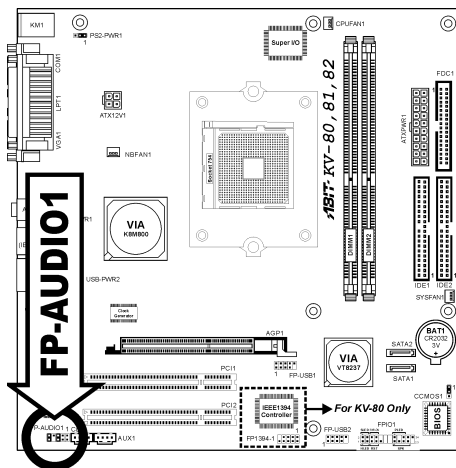


ピン	割り当て	ピン	割り当て
1	VCC	2	VCC
3	- Data 0	4	- Data 1
5	+ Data 0	6	+ Data 1
7	アース	8	アース
		10	NC

## (8). 前面パネルのオーディオ接続ヘッダ

このヘッダは、フロントパネルでのオーディオコネクタに接続を提供します。

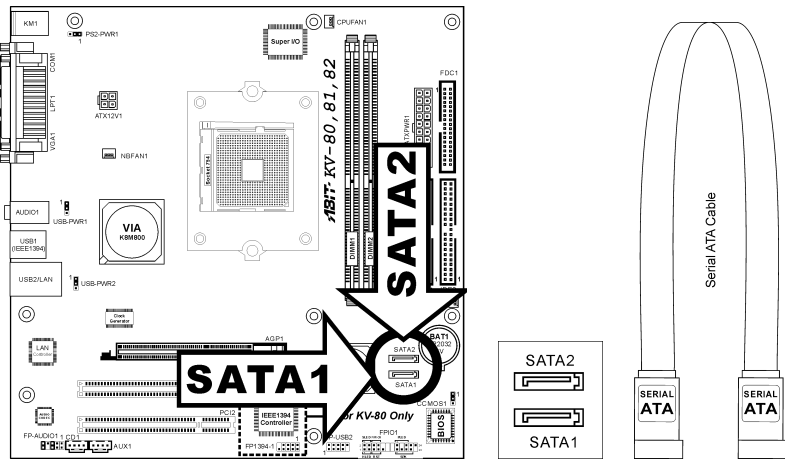
- 前面パネルでオーディオコネクタを使用するには、このヘッダのすべてのジャンパを取り外し、シャーシに付属する延長ケーブルで前面パネルに接続します。
- 背面パネルでオーディオコネクタを使用するには、延長ケーブルを抜き、ピン 5-6、およびピン 9-10 のジャンパを元に戻します（デフォルト設定）。



	ピン	割り当て	ピン	割り当て
	1	オーディオ Mic.	2	アース
	3	オーディオ Mic. バイアス	4	VCC
	5	スピーカーアウトの右チャンネル	6	スピーカーアウトの右チャンネルリターン
	7	X	8	NC
	9	スピーカーアウトの左チャンネル	10	スピーカーアウトの左チャンネルリターン

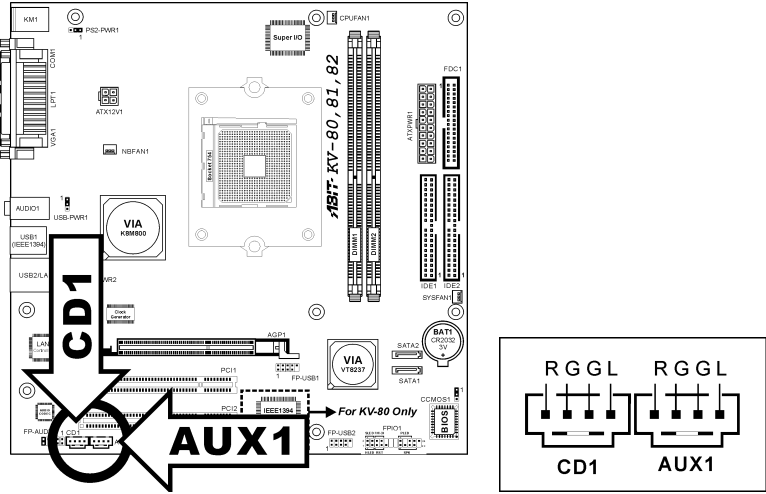
(9). シリアル ATA コネクタ

これらのコネクタは、Serial ATA ケーブル経由で各チャンネル毎に 1 つの Serial ATA デバイスを接続するために用意されています。



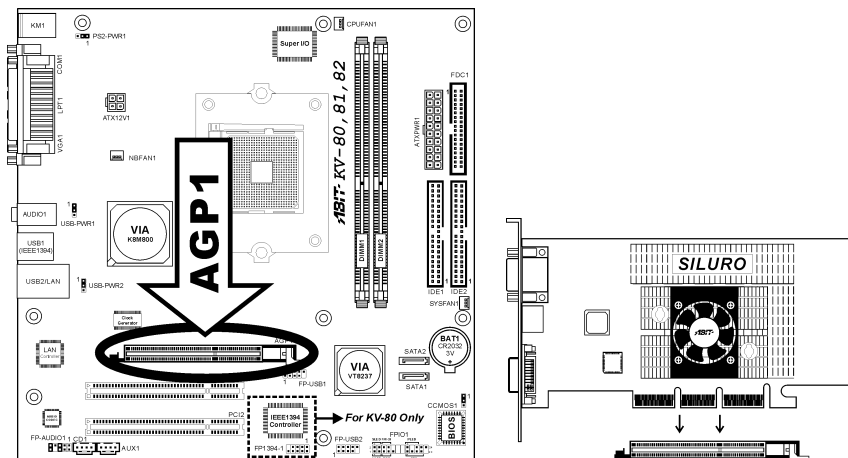
(10). 内部オーディオコネクタ

これらのコネクタは、内部 CD-ROM ドライブまたはアドオンカードのオーディオ出力に接続します。



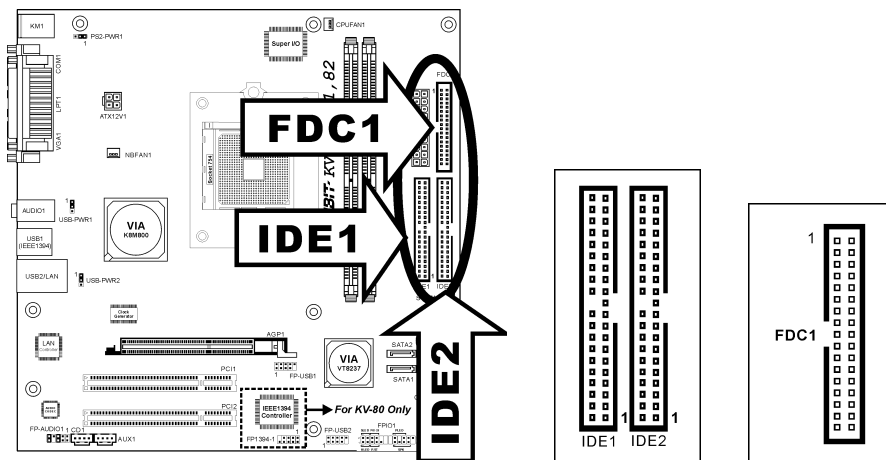
### (11). 加速式グラフィックスポートスロット

このスロットは、AGP 8X までオプションの AGP グラフィックスカードをサポートします。グラフィックスカードの詳細については、当社の Web サイトを参照してください。



**注意：**このマザーボードは 3.3V AGP カードをサポートしません。1.5V または 0.8V AGP カードのみをご使用下さい。

## (12). フロッピーと IDE ディスクドライブコネクタ

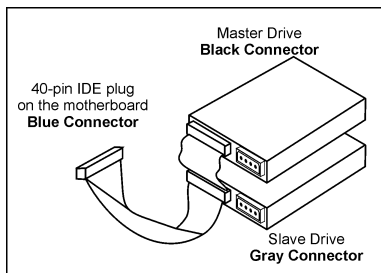


FDC1 コネクタは 34 ワイヤ、2 コネクタフロッピーケーブルで最大 2 つのフロッピードライブを接続することができます。リボンケーブルの長い方にある 1 つのコネクタをボードの FDC1 に接続し、もう片方の 2 つのコネクタをフロッピーディスクドライブに接続してください。通常、システムに必要なフロッピーディスクドライブは 1 つだけです。

**注:** リボンケーブルの赤い線は FDC1 ポートとフロッピーコネクタの両方のピン 1 に合わせる必要があります。

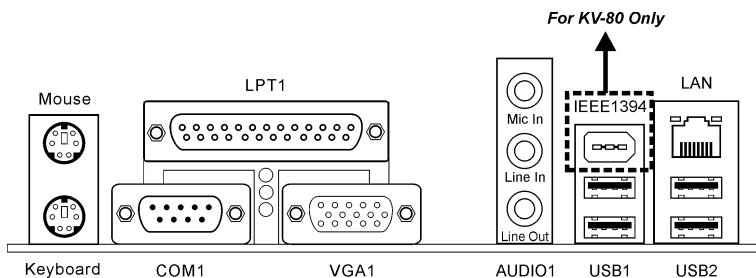
各 IDE ポートコネクタには、40 ピン、80 コンダクタ、3 コネクタの Ultra ATA/66 リボンケーブルを使って Ultra ATA/100 モードで最大 2 つの IDE ドライブを接続することができます。

リボンケーブルの長い方の端 (青いコネクタ) をこのボードの IDE ポートに接続し、短い方の端に付いた 2 つのコネクタ (灰色と黒のコネクタ) をハードドライブのコネクタに接続してください。



**注:** リボンケーブルで 2 つのドライブを接続する前に、"Master" と "Slave" 関係を設定してください。リボンケーブルの赤い線は IDE ポートとハードドライブコネクタの両方のピン 1 に合わせる必要があります。

---

**(13). 背面パネルの接続**

- **マウス** : PS/2 マウスに接続します。
- **キーボード** : PS/2 キーボードに接続します。
- **LPT1** : この通信プロトコルをサポートするプリンタやその他のデバイスに接続します。
- **COM1** : この通信プロトコルをサポートする外部モデム、マウスまたはその他のデバイスに接続します。
- **VGA1** : モニターの入力に接続する。
- **AUDIO1** :
  - Mic-In** : 外部マイクからプラグに接続します。
  - Line-In** : 外部オーディオソースからラインアウトに接続します。
  - Line-Out** : 5.1 チャンネルまたは通常の 2 チャンネルオーディオシステムの前面左と前面右チャンネルに接続します。
- **IEEE1394** : IEEE1394 プロトコルのデバイスに接続します。 (**KV-80**)
- **LAN** : 構内通信網 (LAN) に接続します。
- **USB1/USB2** : スキャナ、デジタルスピーカー、モニタ、マウス、キーボード、ハブ、デジタルカメラ、ジョイスティックなどの USB デバイスに接続します。





## 第3章 BIOS について

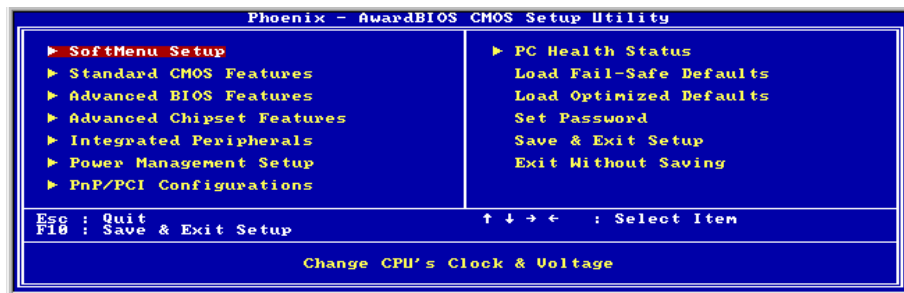
このマザーボードはプログラム可能な EEPROM を提供し、BIOS ユーティリティを更新することができます。BIOS (基本入出力システム)はプロセッサと周辺装置の間で通信の基本レベルを処理するプログラムです。マザーボードを取り付けたり、システムを再構成したり、“セットアップの実行”を指示するときにだけ、BIOS セットアッププログラムを使用します。本章では、BIOS ユーティリティのセットアップユーティリティを説明します。

システムの電源をオンにすると、BIOS メッセージが画面に表示され、メモリがカウントを開始し、次のメッセージが画面に表示されます。

### PRESS DEL TO ENTER SETUP

応答する前にメッセージが消えたら、<Ctrl>+<Alt>+<Del>キーを押すか、コンピュータシャーシのリセットボタンを押してシステムを再起動します。これらの2つの方法が失敗した場合のみ、電源をオフにした後またオンにしてシステムを再起動することができます。

<Del>キーを押した後、メインメニュー画面が表示されます。



**注：**システムの安定性と性能を高めるために、当社の技術陣が BIOS メニューを絶えず改良しています。BIOS セットアップ画面と本書で示した説明は参照のためのもので、画面に表示されるものと完全に一致しないこともあります。

### 3-1. SoftMenu Setup

SoftMenu ユーティリティは、CPU の動作速度プログラムするための ABIT の独占的で究極のソリューションです。CPU FSB 速度、マルチプライヤファクタ、AGP & PCI クロック、CPU コア電圧に関する全てのパラメータはワンタッチで操作することができます。



#### Brand Name:

このアイテムは CPU のモデル名、例えば AMD Athlon (tm) 64。

#### Frequency:

本アイテムはプロセッサ速度を表示します。

#### External Clock:

このアイテムは、外部ロック周波数を選択します。

#### Voltages Control:

このアイテムは、システムに提供される電圧を選択します。

次のアイテムを手動で調整するには、「ユーザー定義」オプションを選択します。

#### ※ CPU Core Voltage:

このアイテムは、CPU のコア電圧を選択します。

**注意：**間違った電圧設定を行うと、システムが不安定になったり、CPU が損傷することさえあります。その結果を十分掌握していない限り、デフォルトの設定のままにしておいてください。

#### ※ DRAM Voltage:

このアイテムは、DRAM の電圧を選択します。

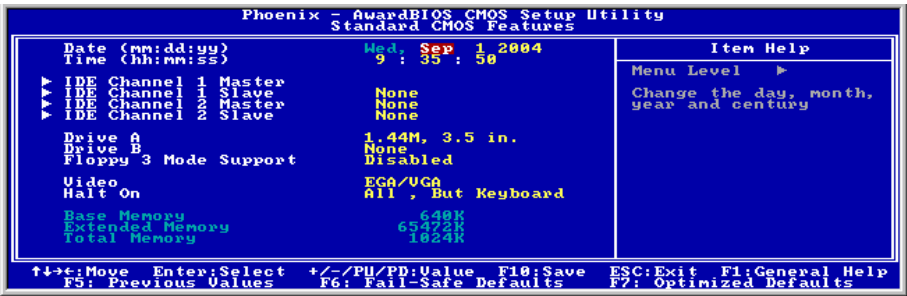
#### ※ AGP Voltage:

このアイテムは、AGP の電圧を選択します。

**※ LDT Voltage:**

このアイテムは LDT バスを電圧を選択します。

3-2. Standard CMOS Features



Date (mm:dd:yy):

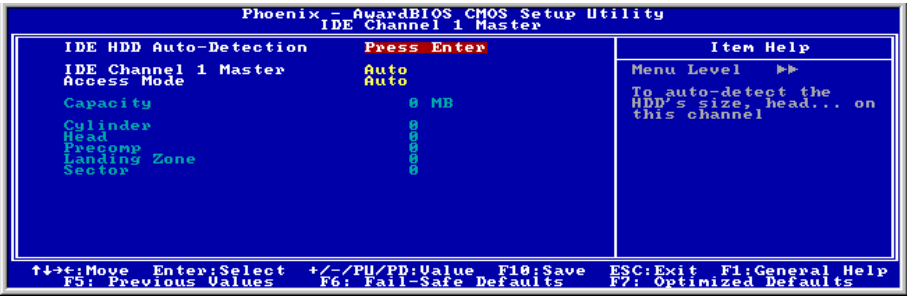
このアイテムは[月]、[日]、[年]の形式で指定する日付（通常、現在の日）を設定します。

Time (hh:mm:ss):

このアイテムは[時]、[分]、[秒]の形式で指定する日付（通常、現在の時間）を設定します。

☞ **IDE Channel 1 Master / Slave, IDE Channel 2 Master / Slave:**

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。



IDE HDD Auto-Detection:

このアイテムでは、<Enter> キーを押すことによって IDE ドライバのパラメータを検出できるようになっています。パラメータが画面上に自動的に表示されます。

---

**IDE Channel 1 Master / Slave, IDE Channel 2 Master / Slave:**

[Auto] (自動) に設定すると、BIOS はどの種類の IDE ドライブを使用しているかを自動的にチェックします。自分でドライブを定義したい場合、これを[Manual] (マニュアル) に設定し、パラメータの意味を完全に理解していることを確認してください。正しい設定を得るには、デバイスメーカーが提供する使用説明書を参照してください。

---

**Access Mode:**

このアイテムはお使いの IDE デバイスにアクセスするモードを選択します。このアイテムをデフォルトの [Auto] (自動) 設定のままにしておくと、HDD のアクセスモードを自動的に検出します。

---

**Capacity:**

このアイテムはディスクドライブのおおよその容量を表示します。一般に、サイズはディスクチェックプログラムに示されるフォーマット済みディスクのサイズよりいくらか大きくなっています。

---

**Cylinder:**

このアイテムはシリンダの数を構成します。

---

**Head:**

このアイテムは読込/書込ヘッドの数を構成します。

---

**Precomp:**

このアイテムは、書込タイミングを変更するシリンダの数を表示します。

---

**Landing Zone:**

このアイテムは、読取り/書込みヘッド用のランディングゾーンとして指定されるシリンダの番号を表示します。

---

**Sector:**

このアイテムは、トラック当りのセクタの数を構成します。

🔍 **Standard CMOS Features Setup Menu に戻ります :**

---

**Drive A & Drive B:**

このアイテムは取り付けたフロッピードライブ (通常、ドライブ A のみ) のタイプを設定します。

---

**Floppy 3 Mode Support:**

このアイテムによって、日本のコンピュータシステムの「3 モードフロッピードライブ」を使用し、ドライブ A、B、または AB 両方のドライブを選択することができます。日本標準のフロッピードライブを使用しない場合、デフォルトの [Disabled] (使用不可能) 設定のままにしてください。

---

**Halt On:**

このアイテムは、システムの起動中にエラーが検出された場合、システムを停止するかどうかを決定します。

[All Errors]: システムブートは、BIOS が致命的でないエラーを検出すると必ず停止します。

[No Errors]: システムブートは、エラーを検出すると停止します。

[All, But Keyboard]: システムブートは、キーボードエラー以外のすべてのエラーに対して停止します。

[All, But Diskette]: システムブートは、ディスクットエラー以外のすべてのエラーに対して停止します。

[All, But Disk/Key]: システムブートは、ディスクットまたはキーボードエラー以外のすべてのエラーに対して停止します。

---

**Base Memory:**

このアイテムは、システムにインストールされた基本メモリの量を表示します。基本メモリの値は 640K を搭載したシステムの場合一般的には 640K ですが、マザーボードにさらに多くのメモリサイズをインストールすることもできます。

---

**Extended Memory:**

このアイテムは、システムの起動中に検出された拡張メモリの量を表示します。

---

**Total Memory:**

このアイテムは、システムで利用できる総メモリを表示します。

### 3-3. Advanced BIOS Features



#### Hard Disk Boot Priority:

このアイテムは、ハードディスクのブート優先順位を選択します。<Enter>キーを押すことによって、そのサブメニューに入り、ここで検出されたハードディスクをシステム起動のためのブートシーケンス用に選択することができます。

このアイテムは、1 次/2 次/3 次ブートデバイスアイテムのどれかに[ハードディスク]のオプションがあるときのみ機能します。

#### ※ **Bootable Add-in Device:**

このアイテムは、起動可能なアドインデバイスの優先順位を選択します。

#### First Boot Device / Second Boot Device / Third Boot Device / Boot Other Device:

[First Boot Device] (第 1 ブートデバイス)、[Second Boot Device] (第 2 ブートデバイス)、[Third Boot Device] (第 3 ブートデバイス) アイテムでそれぞれ起動する第 1、第 2、第 3 ドライブを選択します。BIOS は選択したドライブのシーケンスに従ってオペレーティングシステムを起動します。以上の 3 つのアイテム以外のデバイスから起動したい場合は、[他のデバイスを起動]を[Enabled] (使用可能) に設定してください。

#### Boot Up Floppy Seek:

[Enabled] (使用可能) に設定していると、BIOS はフロッピーディスクドライブがインストールされているかどうかをチェックします。

#### Boot Up NumLock Status:

このアイテムは、システムが起動するときに数値キーボードのデフォルトの状態を決定します。

[On] : 数字キーとしての数値キーパッド機能。

[Off] : 矢印キーとしての数値キーパッド機能。

---

**Security Option:**

このアイテムは、システムがパスワードを要求するとき – システムが起動するたびか、または BIOS セットアップに入るときのみかを決定します。

**[Setup]:** パスワードは BIOS セットアップにアクセスするときのみ要求されます。

**[System]:** パスワードはコンピュータが起動するたびに要求されます。

**注:** パスワードは忘れないでください。パスワードを忘れた場合、コンピュータのケースを開けて、CMOS のすべての情報をクリアしてからシステムを起動してください。この場合、以前に設定したすべてのオプションはリセットされます。

---

**MPS Version Ctrl For OS:**

この項目は、このマザーボードが使用する MPS（多重プロセッサ仕様）のバージョンを指定します。オプションは 1.1 と 1.4 です。デフォルトの設定は **1.4** です。デュアルプロセッサを実行するために古い OS を使用する場合、このオプションを 1.1 に設定してください。

---

**Report No FDD For OS:**

**[Enabled]** (使用可能) に設定すると、このアイテムによりフロッピーディスクドライブがなくても一部の古いオペレーティングシステムを実行できます。

---

**Delay IDE Initial (Secs):**

このアイテムにより、BIOS は遅延時間を引き延ばすことによって一部の古いまた特殊な IDE デバイスをサポートすることができます。値を大きくすると、デバイスを初期化したり動作できる準備をするための遅延時間が長くなります。

---

**Disable unused PCI Clock:**

このオプションは、使用されていない PCI スロットのクロックを使用不可能にします。

**[Enabled]:** システムは未使用の PCI スロットを自動的に検出し、これらの未使用 PCI スロットへのクロック信号の送信を停止します。

**[Disabled]:** システムはすべての PCI スロットにクロック信号をたえず送信します。

**注:** システムが自動的に検出できないアダプタがある場合、このオプションを **[Disabled]** に設定すると、誤動作の原因となります。



### 3-4. Advanced Chipset Features



#### AGP & P2P Bridge Control:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。



#### AGP Aperture Size:

このオプションは、AGP デバイスが使用できるシステムメモリの量を指定します。アパチャはグラフィックスメモリアドレススペース用に割り当てられた PCI メモリアドレス範囲の一部分です。

#### AGP 2.0 Mode:

このアイテムにより、AGP デバイスのデータ転送速度を選択できます。速度が高ければ高いほど、システムのグラフィックス速度は高速になり性能も向上します。お使いのグラフィックスカードが選択したモードをサポートすることを確認してください。

#### AGP Driving Control:

このアイテムは、そのデフォルトの設定のままにしておいて下さい。

※ AGP Driving Value:

このアイテムは、そのデフォルトの設定のままにしておいて下さい。

**AGP Fast Write:**

2 つのオプション、Disabled (無効)または Enabled (有効)を使用することができます。デフォルトの設定は *Enabled* です。お使いの AGP アダプタがこの機能をサポートできる場合、「有効」を選択することができます。そうでない場合は、「無効」を選択します。

**AGP Master 1 WS Write:**

2 つのオプション、Enabled (有効)または Disabled (無効) を使用することができます。デフォルトの設定は *Disabled* です。このオプションは、AGP バスに書き込んでいるとき単一遅延を実行します。これを「有効」に設定するとき、システムにより 2 つの待ち状態が使用され、安定性がさらに増します。

**AGP Master 1 WS Read:**

2 つのオプション、Enabled (有効)または Disabled (無効) を使用することができます。デフォルトの設定は *Disabled* です。このオプションは、AGP バスを読み込んでいるとき単一遅延を実行します。これを「有効」に設定するとき、システムにより 2 つの待ち状態が使用され、安定性がさらに増します。

**AGP 3.0 Calibration cycle:**

このアイテムは、そのデフォルトの設定のままにしておいて下さい。

**DBI Output for AGP Trans.:**

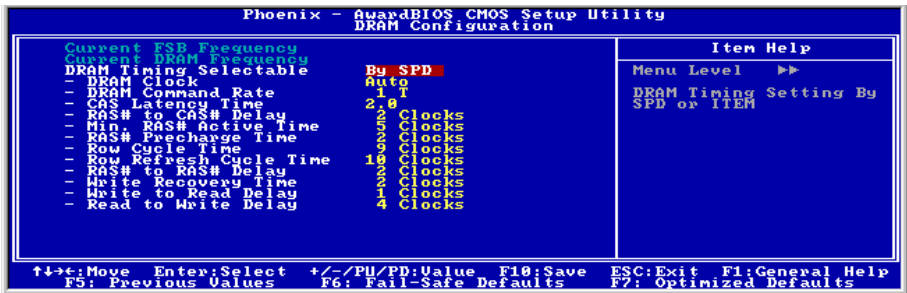
このアイテムは、そのデフォルトの設定のままにしておいて下さい。

**VGA Share Memory Size:**

このオプションは、VGA 出力に対してオンチップフレームバッファのサイズを選択します。

🔗 **DRAM Configuration:**

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。



**Current FSB Frequency:**

この項目は、現在のシステムの前方バス速度を表示します。

**Current DRAM Frequency:**

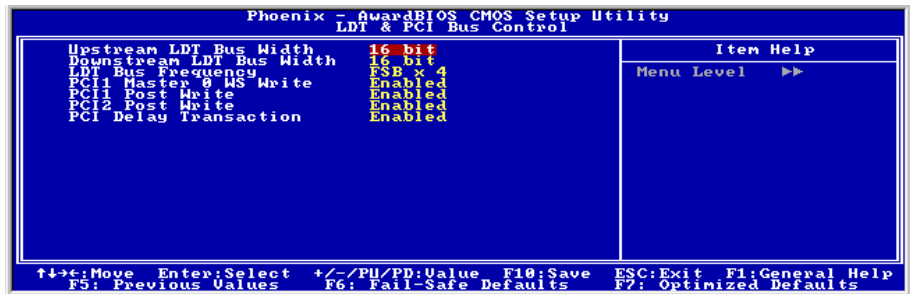
この項目は、現在の DRAM バス速度を表示します。

**DRAM Timing Selectable:**

このオプションはDRAMタイミングの方法を選択します。[By SPD]に設定されているとき、BIOS は DRAM モジュール SPD データを自動的に読み込みます。[Manual]に設定されているとき、調整を行うために次のサブアイテムを使用できます。

## 🔗 LDT & PCI Bus Control:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。

**Upstream/Downstream LDT Bus Width:**

このアイテムは、LDT バス幅を選択します。

**LDT Bus Frequency:**

このアイテムは、LDT バス周波数を選択します。

**PCI1 Master 0 WS Write :**

次の2つのオプションが指定できます: Enabled (使用する) ➔ Disabled (使用しない)。デフォルト設定は Enabled (使用する) です。Enabled (使用する) に設定されているとき、PCI バスへの書き込みは、PCI がデータ受信の準備ができると (直ちに) ゼロの待ち状態を実行します。Disabled (使用しない) に設定されていると、システムはデータを PCI バスに書き込む前に 1 の待ち状態を実行します。

---

**PCI1/PCI2 Post Write :**

次の2つのオプションが指定できます: Disabled (使用しない) → Enabled (使用する)。デフォルト設定は Enabled (使用する) です。Enabled (使用する) に設定しているとき、PCI ポスト書き込みバッファを有効にして、PCI マスター読み込み待ち時間を最小限にします。

---

**PCI Delay Transaction:**

2つのオプション、Disabled (無効) または Enabled (有効) を使用することができます。デフォルトの設定は *Enabled* です。チップセットは 32 ビット Post 書き込みバッファを埋め込み、遅延トランザクションサイクルをサポートします。「有効」を選択すると、PCI 仕様バージョン 2.1 に対する準拠をサポートします。

---

**🔗 Advanced Chipset Features Setup Menu に戻ります:**

---

**Memory Hole:**

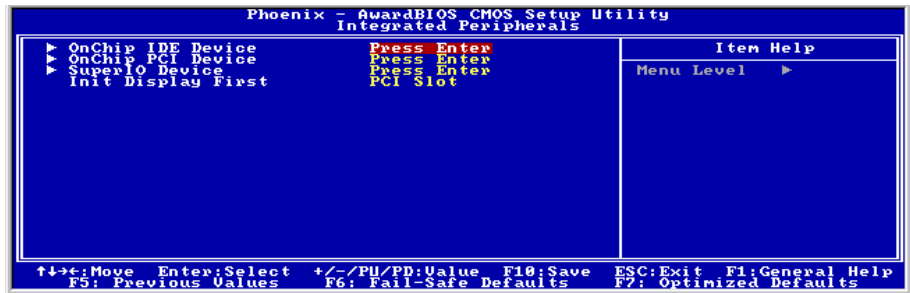
[15M-16M] に設定していると、15M-16M のメモリアドレススペースがこの設定を特別に要求する ISA 拡張カード用に予約されます。これにより、システムで利用できない 15MB 以上のメモリが作成されます。このアイテムは、デフォルトの設定のままにしておいてください。

---

**Vlink Data Rate:**

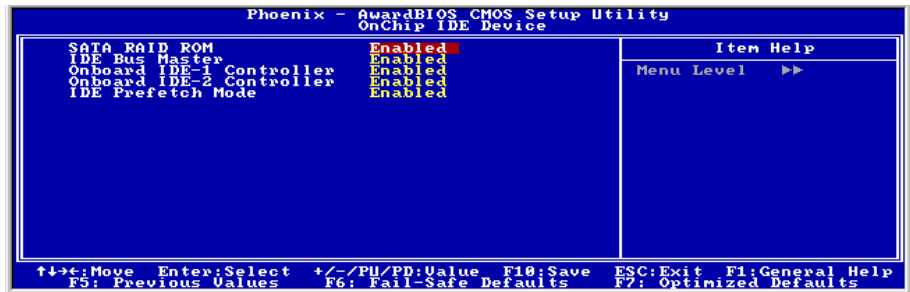
このアイテムは、ノースブリッジとサウスブリッジ間で Vlink データ転送速度を選択します。

### 3-5. Integrated Peripherals



#### OnChip IDE Device:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。



#### SATA RAID ROM:

この項目では、オンチップシリアル ATA RAID のブート ROM を使用してシステムを起動することができます。

#### IDE Bus Master:

このオプションは、DOS 環境の下で IDE バスマスタリング機能の有効/無効を切り替えます。

#### Onboard IDE-1/IDE-2 Controller:

このアイテムにより、一次および二次 IDE コントローラの使用可能/不可能を切り替えることができます。異なるハードドライブコントローラを追加するには、[Disabled] (使用不可能) を選択してください。

**IDE Prefetch Mode:**

2つのオプション、無効(Disabled)または有効(Enabled)を使用することができます。デフォルトの設定は無効(Disabled)です。オンボード IDE ドライブインターフェイスは、高速ドライブアクセスを先取りするための IDE 先取りをサポートします。プライマリまたはセカンダリアドイン IDE インターフェイスおよびその両方を取り付ける場合、インターフェイスが先取りをサポートしていない場合、このフィールドを無効(Disabled)に設定してください。

**☞ OnChip PCI Device:**

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。

**Onchip Audio Controller:**

このアイテムはオンボードオーディオコントローラを使用できるようにします。

**Onboard LAN Controller:**

このアイテムはオンボード LAN コントローラを使用できるようにします。

**\* LAN Boot ROM:**

このアイテムはオンボード LAN Boot ROM を使用できるようにします。

**Onboard 1394 Controller: (KV-80)**

このオプションは、オンボード IEEE 1394 コントローラの有効/無効を切り替えます。

**USB Emulation:**

このオプションは、DOS 環境でサポートされる USB デバイスを選択します。

**OnChip USB Controller:**

このアイテムはオンボード USB コントローラを使用できるようにします。

**\* USB 2.0 Controller:**

このアイテムはオンボード USB 2.0 コントローラを使用できるようにします。

### ※ USB Keyboard Support Via:

このアイテムにより、DOS 環境で USB キーボードを使用するための[BIOS]を、または、または OS 環境では[OS]を選択することができます。

### ※ USB Mouse Support Via:

このアイテムにより、DOS 環境で USB マウスを使用するための[BIOS]を、または、または OS 環境では[OS]を選択することができます。

## 🔍 SuperIO Device:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。



### Onboard FDC Controller:

このアイテムはオンボード FDC コントローラを使用できるようにします。

### Onboard Serial Port 1:

このアイテムは、どの I/O アドレスにオンボードのシリアルポートコントローラがアクセスするかを決定します。

[Auto]: システムは、オンボードシリアルポートの I/O アドレスを自動的に選択します。

[3F8/IRQ4, 2F8/IRQ3, 3E8/IRQ4, 2E8/IRQ3]: オンボードシリアルポートの I/O アドレスを手動で選択できるようにします。

[Disabled]: オンボードシリアルポートを個別にまたは同時に使用不可能に設定します。

### Onboard Parallel Port:

このアイテムは、パラレルポートが使用する I/O アドレスを指定します。

[Disabled]: このオプションは、パラレルポートがシステムリソースに一切アクセスできないようにします。このオプションの値が使用不可能に設定されていると、プリンタポートは使用できません。

**[378/IRQ7]** : このオプションは、パラレルポートがその I/O ポートアドレスとして[378/IRQ7]を使用できるようにします。コンピュータシステムの大多数のパラレルポートは、標準設定として IRQ7 と I/O ポート 378H を使用します。

**[278/IRQ5]** : このオプションは、パラレルポートがその I/O ポートアドレスとして[278/IRQ5]を使用できるようにします。

**[3BC/IRQ7]** : このオプションは、パラレルポートがその I/O ポートアドレスとして[3BC/IRQ7]を使用できるようにします。

※ **Parallel Port Mode:**

このアイテムは、パラレルポートのモードを指定します。

**[SPP]** : 標準速度での双方向のパラレルポート操作を可能にします。

**[EPP]** : 最高速度での双方向のパラレルポート操作を可能にします。

**[ECP]** : 標準モードのデータ転送速度より高速で双方向のパラレルポート操作を可能にします

**[ECP+EPP]**: ECP と EPP モードでパラレルポート動作を可能にします。

**[Normal]** : 標準のパラレルポートモードを使用できるようにします。

※ **EPP Mode Select:**

このアイテムは EPP モードを選択します。

※ **ECP Mode Use DMA:**

このアイテムは、パラレルポートの DMA チャンネルを選択します。

🔗 **Integrated Peripherals Setup Menu に戻ります:**

---

**Init Display First:**

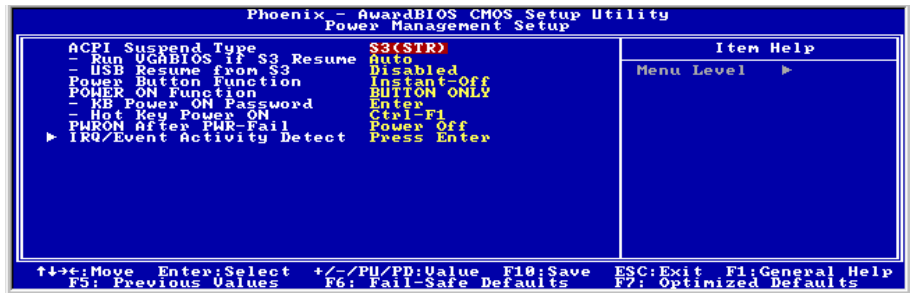
このアイテムは、システムが起動するとき AGP または PCI スロットをまず初期化するために選択します。

**[PCI Slot]**: システムが起動するとき、まず PCI を初期化します。

**[AGP]**: システムが起動するとき、まず AGP を初期化します。



### 3-6. Power Management Setup



#### ACPI Suspend Type:

このアイテムは、サスペンドモードのタイプを選択します。

[S1(POS)] : 電源オンサスペンド機能を使用可能にします。

[S3(STR)] : サスペンド対 RAM 機能を使用可能にします。

#### ※ Run VGABIOS if S3 Resume:

次の 3 つのオプションが指定できます: Auto (自動) → Yes (はい) → No (いいえ)。デフォルトは *Auto* (自動) です。このアイテムにより、いつ S3 レジュームをアクティブにするか、VGA BIOS を開始する必要があるかどうかを選択することができます。

#### ※ USB Resume From S3:

[Enabled] (使用可能) に設定していると、このアイテムにより USB デバイスを使用して S3 (STR - RAM にサスペンド) 状態にあるシステムを呼び起こすことができます。このアイテムは、アイテム“ACPI サスペンドタイプ”が[S3(STR)]に設定されているときのみ構成できます。

#### Power Button Function:

このアイテムは、システムの電源をオフにする方法を選択します。

[Delay 4 Sec.]: 電源ボタンを 4 秒以上長く押し続けていると、システムの電源がオフになります。これにより、電源ボタンにうっかり触れたり押したりした場合にシステムの電源がオフになることを防ぐことができます。

[Instant-Off]: 電源ボタンを一度押してから離すと、直ちにシステムの電源がオフになります。

#### POWER ON Function:

このアイテムは、システムの電源をオンにする方法を選択します。

**[Password]:** パスワードを使用してシステムの電源をオンにします。このオプションを選択してから、<Enter>を押してください。パスワードを入力してください。最大 5 文字まで入力できます。正確に同じパスワードを入力して確認したら、<Enter>を押します。

**[Hot KEY]:** <F1> から <F12>までのどれかの機能を使用して、システムの電源をオンにします。

**[Mouse Left]:** マウスの左ボタンをダブルクリックして、システムの電源をオンにします。

**[Mouse Right]:** マウスの右ボタンをダブルクリックして、システムの電源をオンにします。

**[Any KEY]:** キーボードの任意のキーを使用して、システムの電源をオンにします。

**[Button Only]:** 電源ボタンのみを使用して、システムの電源をオンにします。

**[Keyboard 98]:** “Keyboard 98”互換キーボードの電源オンボタンを使用して、システムの電源をオンにします。

**注：**この「電源オン」機能を有効にするには、[PS2-PWR1]、[USB-PWR1]、[USB-PWR2]の呼び起こしヘッダを[Enabled（有効）]の位置に設定する必要があります。第2章、2-4 項の「呼び起こしヘッダ」[PS2-PWR1]、[USB-PWR1]、[USB-PWR2]の構成を参照してください。

マウスの呼び起こし機能は、COM ポートや USB タイプではなく、PS/2 マウスでのみ使用可能です。一部の PS/2 マウスの中には、互換上の問題が理由で呼び起こしができないものもあります。キーボードの仕様があまりにも古いと、電源をオンにできないことがあります。

#### ※ KB Power ON Password:

このアイテムは、コンピュータの電源をオンにするために必要なパスワードを設定します。

**注：**パスワードを忘れないでください。忘れると、この機能を再び利用するには、CMOS を消去して全てのパラメータをリセットしなければなりません。

#### ※ Hot Key Power ON:

このアイテムは、<Ctrl>キーと機能キー(<F1> ~ <F12>)のどれかを同時に押すことによって、システムの電源をオンにします。

---

#### **PWRON After PWR-Fail:**

このアイテムは、AC 電源に障害が発生した後のシステム動作を選択します。

**[Power Off]:** AC 電源の障害後に電源が回復しても、システムの電源はオフになったままです。システムの電源をオンにするには、電源ボタンを押す必要があります。

**[Power On]:** AC 電源の障害後に電源が回復すると、システムの電源は自動的にオンになります。

**[Last State]:** AC 電源の障害後に電源が回復すると、システムは電源障害が発生する前の状態に戻ります。AC 電源の障害が発生したときにシステムの電源がオフになっていたら、電源が回復したときにもシステムの電源はオフになったままです。AC 電源の障害が発生したときにシステムの電源がオンになっていたら、電源が回復したときにシステムの電源はオンになります。.

## ☞ IRQ/Event Activity Detect:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。



### VGA:

2 つの項目、OFF (オフ) または ON (オン) を使用することができます。デフォルトの設定は **OFF** です。「**オン**」に設定するとき、VGA ポートで発生するイベントはパワーダウンしたシステムを呼び起します。

### LPT & COM:

4 つの項目、NONE (なし) → LPT → COM → LPT/COM を使用することができます。デフォルトの設定は **LPT/COM** です。「**LPT/COM**」に設定しているとき、LPT (プリンタ) または CPM (シリアル) ポートで発生するすべてのイベントは、パワーダウンしたシステムを呼び起します。

### HDD & FDD:

2 つの項目、OFF (オフ) または ON (オン) を使用することができます。デフォルトの設定は **ON** です。「**オン**」に設定するとき、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブポートに影響を与えるイベントはパワーダウンしたシステムを呼び起します。

### PCI Master:

2 つの項目、OFF (オフ) または ON (オン) を使用することができます。デフォルトの設定は **OFF** です。「**オン**」に設定するとき、PCI マスタ信号に影響を与えるイベントはパワーダウンしたシステムを呼び起します。

### Wake-up by PME# of PCI:

[Enabled] (使用可能) に設定しているとき、モデムや LAN カードなどのオンボード LAN や PCI カードにアクセスすると、システムを呼び起こす原因となります。PCI カードは呼び起こし機能をサポートする必要があります。

---

**Resume By Ring:**

次の 2 つのアイテム、Disabled (使用しない) または Enabled (使用する) が設定できます。デフォルトは *Disabled (使用しない)* です。*Enabled (使用しない)* に設定するとき、モデムリングに影響を及ぼすイベントはパワーダウンしたシステムを呼び起こします。

---

**Wakeup by Alarm:**

[Enabled] (使用可能) に設定すると、“日 (月の) アラーム”および“時 (hh:mm:ss) アラーム”アイテムでソフトオフ PC の電源をオンにしたい日と時間を設定できます。ただし、システムがこれらのアイテムで設定された日と時間より前に入電またはネットワーク(レジュームオンリング/LAN)によりアクセスされると、システムは入電やネットワークに優先順位を与えます。

※ **Date (of Month) Alarm**

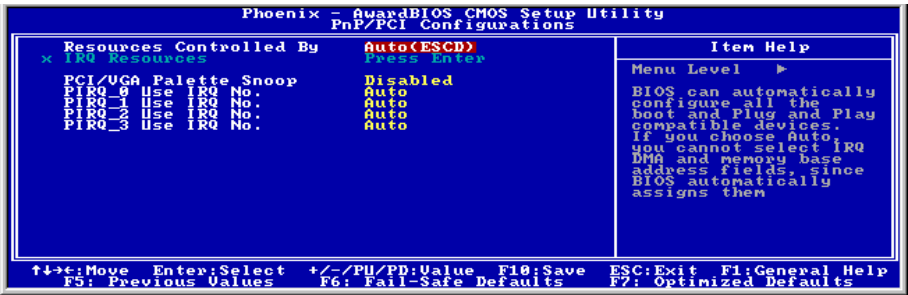
[0]: このオプションは、“時 (hh:mm:ss) アラーム”アイテムで設定された時間に従って毎日システムの電源をオンにします。

[1-31]: このオプションは、システムの電源をオンにする日を選択します。システムは設定された日、および“時 (hh:mm:ss) アラーム”アイテムで設定された時間に電源がオンになります。

※ **Time (hh:mm:ss) Alarm**

このアイテムは、システムの電源をオンにする時間を設定します。

### 3-7. PnP/PCI Configurations



#### Resources Controlled By:

このアイテムは、全ての起動およびプラグアンドプレイ互換デバイスを構成します。

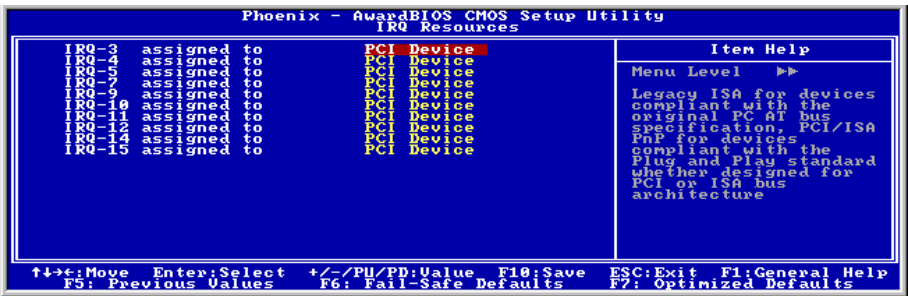
[Auto(ESCD)]: システムは設定を自動的に検出します。

[Manual]: “IRQ リソース”メニューで、特定の IRQ リソースを選択してください。

#### \* IRQ Resources:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。

このアイテムは、各システム割り込みを[PCI デバイス] または [予約済み]に設定します。



#### PCI/VGA Palette Snoop:

このアイテムは、MPEG ISA/VESA VGA カードが PCI/VGA で作動できるかどうかを決定します。

[Enabled]: MPEG ISA/VESA VGA カードは、PCI/VGA で作動できます。

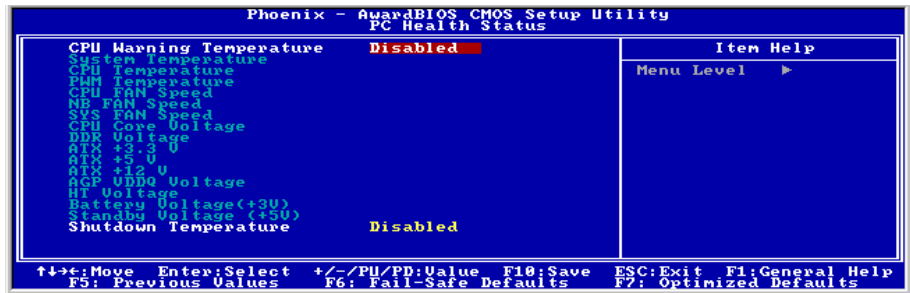
[Disabled]: MPEG ISA/VESA VGA カードは PCI/VGA で作動しません。

---

**PIRQ 0 Use IRQ No. ~PIRQ 3 Use IRQ No. :**

このアイテムは、PCI スロットに取り付けたデバイスの IRQ 番号を自動または手動で指定します。

### 3-8. PC Health Status



#### CPU Warning Temperature:

このアイテムは、CPU の警告温度の限界を選択します。システムが CPU の温度が限界を超えていることを検出すると、警告音が鳴ります。

**注：** オンボードハードウェア監視機能は、これらのシステムヘルス状態を検出できます。異常な状態が発生したとき、警告メッセージを表示したり警告アラームを鳴らしたい場合、“ハードウェアドクター”ユーティリティをインストールする必要があります。このユーティリティは本マザーボードに付属する“ドライバとユーティリティ CD”に含まれています。

#### All Voltages, Fans Speed and Thermal Monitoring:

CPU と環境の温度、ファンの回転速度、システムの電源の電圧を表示します。これらの値は変更できません。

**注：** 温度、ファンの回転速度、電圧を測定するためのハードウェア監視機能を有効にする場合は、294H から 297H までの I/O アドレスを使用します。ネットワークアダプタ、サウンドカード、またはこれらの I/O アドレスを使用する可能性のあるアドオンカードが装着されている場合は、競合を避けるためにアドオンカードの I/O アドレスを調整してください。

#### Shutdown Temperature:

このアイテムは、システムが過熱しないようにシステムを自動的に停止する温度を設定します。

### **3-9. Load Fail-Safe Defaults**

---

このオプションはデフォルトの BIOS 値をロードして、最も安定した、最適のシステムパフォーマンスを実現します。

### **3-10. Load Optimized Defaults**

---

このオプションは、出荷時のデフォルトの BIOS 設定をロードして、最適のシステムパフォーマンスを実現します。

### **3-11. Set Password**

---

このオプションは BIOS 構成を保護したり、コンピュータへのアクセスを制限します。

### **3-12. Save & Exit Setup**

---

このオプションは選択を保存して BIOS セットアップメニューを終了します。

### **3-13. Exit Without Saving**

---

このオプションは、変更を保存せずに BIOS セットアップメニューを終了します。



## 第4章 ドライバのインストール

必要なすべてのドライバは、マザーボードに付属するドライバとユーティリティ CD に含まれています。ドライバとユーティリティ CD を CD-ROM ドライブに挿入すると、次の図に示されるディスプレイが直ちに表示されます。表示されない場合、→ [マイコンピュータ] → [CD-ROM] ドライブ → に移動し、[autorun.exe] をダブルクリックしてください。オンスクリーンの指示に従ってください。



---

## 4-1. セットアップアイテム

---

- **VIA 4in1 ドライバ**  
Windows オペレーティングシステムに対して VIA 4-in-1 ドライバをインストールします。
- **VIA VGA ドライバ**  
Windows オペレーティングシステムに対して VIA VGA グラフィック ドライバをインストールします。
- **オーディオドライバ**  
Windows オペレーティングシステムに対してオーディオドライバをインストールします。
- **LAN ドライバ**  
Windows オペレーティングシステムに対して LAN ドライバをインストールします。
- **VIA USB 2.0 ドライバ**  
(1) Windows 98/ME オペレーティングシステムに対して VIA USB 2.0 ドライバをインストールします。  
(2) Windows 更新プログラムを通し、Windows 2000/XP オペレーティングシステムに対して VIA USB 2.0 ドライバを更新します。
- **VIA SATA RAID ドライバ**  
Windows オペレーティングシステムに対して VIA シリアル ATA RAID ドライバをインストールします。
- **AMD Athlon 64 プロセッサドライバ**  
Windows オペレーティングシステムに対して AMD Athlon 64 プロセッサドライバをインストールします。
- **マニュアル**  
PDF ファイルでユーザーズマニュアルを表示します。
- **ユーティリティ**  
Acrobat Reader、DirectX、LoFormat ユーティリティのようなソフトウェアをインストールするには、サブ画面をクリックしてください。
- **ABIT ユーティリティ**  
Flash メニュー (BIOS 更新ユーティリティ)や Hardware Doctor のようなユーティリティをインストールするには、サブ画面をクリックします。
- **CD の閲覧**  
この CD-ROM のコンテンツを閲覧します。
- **閉じる**  
CD セットアップアイテムのメニューを終了します。

## 付録 A. テクニカルサポートの受け方について

(ホームページ) <http://www.abit.com.tw>

(米国) <http://www.abit-usa.com>

(ヨーロッパ) <http://www.abit.nl>

ABIT 社の製品をお買い上げいただきありがとうございます。ABIT はディストリビュータ、リセラー、システムインテグレータを通じて製品を販売させていただいておりますため、エンドユーザの皆様へ直接製品を販売することはありません。弊社テクニカルサポート部へお問い合わせいただく前に、お客様のシステムを構築したリセラーかシステムインテグレータにお問い合わせいただく方が、より適切なアドバイスを受けることができます。

ABIT ではお客様に常に最高のサービスを提供したいと願っております。弊社はお客様への迅速な対応を最優先に考えておりますが、毎日世界各国からの電話や電子メールによる問い合わせが殺到しておりますため、すべてのご質問にお答えすることができない状況です。したがって、電子メールでお問い合わせいただきましてもご返答できない場合がありますので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

ABIT は最高の品質と互換性の高い製品を提供するために、互換性や信頼性に関するテストを重ねております。万一サービスやテクニカルサポートが必要となりました場合には、**まずリセラーかシステムインテグレータにお問い合わせください。**

できるだけ早く問題を解決するために、以下に説明します処理を行ってください。それでも問題を解決できない場合には、弊社のテクニカルサポートへお問い合わせください。より多くのお客様に、より質の高いサービスを提供するために、皆様のご協力をお願いします。

1. **マニュアルをお読みください。** マニュアルの作成には万全の注を払って、どなたにもお分かりいただけるように説明してあります。意外と簡単なことを見落としている場合もありますので、再度マニュアルをよくお読みください。マニュアルにはマザーボード以外についても重要な情報が記載されています。マザーボードに同梱されている CD-ROM には、ドライバのほかにマニュアルの電子ファイルも格納されています。必要であれば、弊社の Web サイトまたは FTP サーバより、ファイルをダウンロードすることもできます。
2. **最新の BIOS、ソフトウェア、ドライバをダウンロードしてください。** 弊社の Web サイトをご覧になり、バグや互換性に関わる問題が修正された最新バージョンの BIOS をダウンロードしてください。また周辺機器のメーカーにお問い合わせになり、最新バージョンのドライバをインストールしてください。

3. **Web サイト上の専門用語集および FAQ（よく聞かれる質問）をお読みください。**  
弊社では今後も引き続き FAQ を充実させていく予定です。皆様のご意見をお待ちいたしております。また新しいトピックにつきましては、HOT FAQ をご覧ください。
4. **インターネットニュースグループをご利用ください。** ここには貴重な情報が数多く寄せられます。ABIT Internet News グループ ([alt.comp.periphs.mainboard.abit](mailto:alt.comp.periphs.mainboard.abit)) はユーザどうしで情報を交換したり、それぞれの経験を語り合ったりするために設置されたフォーラムです。たいいていの場合、知りたい情報はこのニュースグループ上にすでに記載されています。これは一般に公開されているインターネットニュースグループであり、無料で参加することができます。ほかにも次のようなニュースグループがあります。  
  
[alt.comp.periphs.mainboard.abit](mailto:alt.comp.periphs.mainboard.abit)  
[alt.comp.periphs.mainboard](mailto:alt.comp.periphs.mainboard)  
[comp.sys.ibm.pc.hardware.chips](mailto:comp.sys.ibm.pc.hardware.chips)  
[alt.comp.hardware.overclocking](mailto:alt.comp.hardware.overclocking)  
[alt.comp.hardware.homebuilt](mailto:alt.comp.hardware.homebuilt)  
[alt.comp.hardware.pc-homebuilt](mailto:alt.comp.hardware.pc-homebuilt)
5. **リセラーへお問い合わせください。** 技術的な問題につきましては、ABIT が認定したディストリビュータにお尋ねください。弊社の製品はディストリビュータからリセラーや小売店へ配送されます。リセラーはおお客様のシステムの構成内容をよく理解していますので、お客様が抱える問題をより効率よく解決できるはずです。お客様が受けられるサービス内容によって、お客様が今後もそのリセラーと取り引きを続けていきたいかどうかを判断する材料にもなります。万一問題を解決できない場合は、状況に応じて何らかの対応策が用意されているはずです。詳しくはリセラーにお尋ねください。
6. **ABIT へお問い合わせください。** ABIT へ直接お尋ねになりたいことがございましたら、テクニカルサポート部へ電子メールをお送りください。まず、お近くの ABIT 支店のサポートチームにお問い合わせください。地域の状況や問題、またリセラーがどのような製品とサービスを提供しているかは、地域により全く異なります。ABIT 本社には毎日世界各国から膨大な量の問い合わせが殺到しておりますため、すべてのお客様のご質問にお答えすることができない状況です。弊社ではディストリビュータを通じて製品を販売いたしておりますため、すべてのエンドユーザの皆様にサービスを提供することができません。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。また、弊社のテクニカルサポート部に質問をお寄せになる際は、問題点を英語でできるだけ分かりやすく、簡潔に記載していただき、必ずシステム構成部品のリストしてください。お問い合わせ先は次の通りです。

**北米、南米**

**ABIT Computer (U.S.A.) Corporation**

45531 Northport Loop West, Fremont CA, 94538,  
U.S.A.

電話: 1-510-623-0500

ファックス: 1-510-623-1092

営業: [sales@abit-usa.com](mailto:sales@abit-usa.com)

南米営業: [ventas@abit-usa.com](mailto:ventas@abit-usa.com)

マーケティング: [marketing@abit-usa.com](mailto:marketing@abit-usa.com)

ウェブサイト: <http://www.abit-usa.com>

**RMA センター**

46808 Lakeview Blvd. Fremont, CA 94538, U.S.A.

**英国、アイルランド**

**ABIT Computer (U.K.) Corporation Ltd.**

Unit 3, 24-26 Boulton Road, Stevenage, Herts SG1  
4QX, UK

電話: 44-1438-228888

ファックス: 44-1438-226333

電子メール: [sales@abitcomputer.co.uk](mailto:sales@abitcomputer.co.uk)

ドイツ、ベネルクス (ベルギー、  
オランダ、ルクセンブルク)、  
フランス、イタリア、スペイン、  
ポルトガル、ギリシャ、デンマ  
ーク、ノルウェー、スウェーデ  
ン、フィンランド、スイス

**AMOR Computer B.V. (ABIT's European Office)**

Jan van Riebeeckweg 15, 5928LG, Venlo,  
The Netherlands

電話: 31-77-3204428

ファックス: 31-77-3204420

営業: [sales@abit.nl](mailto:sales@abit.nl)

ウェブサイト: <http://www.abit.nl>

オーストリア、チェコ、ルーマ  
ニア、ブルガリア、スロバキア、  
クロアチア、ボスニア、セルビ  
ア、マケドニア

**Asguard Computer Ges.m.b.H**

Schmalbachstrasse 5, A-2201 Gerasdorf / Wien,  
Austria

電話: 43-1-7346709

ファックス: 43-1-7346713

電子メール: [asguard@asguard.at](mailto:asguard@asguard.at)

**上海**

**ABIT Computer (Shanghai) Co. Ltd.**

電話: 86-21-6235-1829

ファックス: 86-21-6235-1832

ウェブサイト: <http://www.abit.com.cn>

**ロシア、CIS**

**ABIT Computer (Russia) Co. Ltd.**

営業: [sales@abit.ru](mailto:sales@abit.ru)

Info: [info@abit.ru](mailto:info@abit.ru)

ウェブサイト: <http://www.abit.ru>

---

<b>ポーランド</b>	<b>ABIT Computer (Poland) Co. Ltd.</b> Przedstawicielstwo w Polsce ul. Wita Stwosza 28, 50-149 Wrocław 電話: 48 71 780 78 65 / 66 ファックス: 48 71 372 30 87
--------------	--

---

<b>日本</b>	ウェブサイト: <a href="http://www.abit4u.jp">http://www.abit4u.jp</a>
-----------	---

---

<b>台湾本社</b> (上記以外の地域へのサービス 台湾は8+ GMT 時間で お客様の地域とは休日が異なる 可能性があります。)	<b>ABIT Computer Corporation</b> No. 323, Yang Guang St., Neihu, Taipei, 114, Taiwan 電話: 886-2-8751-8888 ファックス: 886-2-8751-3382 営業: <a href="mailto:sales@abit.com.tw">sales@abit.com.tw</a> マーケティング: <a href="mailto:market@abit.com.tw">market@abit.com.tw</a> ウェブサイト: <a href="http://www.abit.com.tw">http://www.abit.com.tw</a>
--	---

---

7. **RMA サービスについて。**新しくソフトウェアやハードウェアを追加していないのに、今まで動いていたシステムが突然動かなくなった場合は、コンポーネントの故障が考えられます。このような場合は、製品を購入されたリセラーにお問い合わせください。RMA サービスを受けることができます。
8. **互換性に関する問題がある場合は ABIT へご一報ください。**弊社に寄せられるさまざまな質問の中でも ABIT が特に重視しているタイプの質問があります。互換性に関する問題もその1つです。互換性がないために問題が発生していると思われる場合は、システムの構成内容、エラーの状態をできるだけ詳しくお書きください。その他のご質問につきましては、申し訳ございませんが直接お答えできない場合があります。お客様がお知りになりたい情報は、インターネットニュースグループにポストされていることがありますので、定期的にニュースグループをお読みください。

ありがとうございました。

**ABIT Computer Corporation**

**<http://www.abit.com.tw>**